

世界遺産登録推進NEWS

国立西洋美術館を世界遺産に！ For The World Heritage!



【発行】2015(平成27)年12月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



生涯学習センターでパネル展を開催します！

2016年1月9日(土曜日)から1月31日(日曜日)まで、台東区生涯学習センター1階アトリウムにて、「国立西洋美術館を世界遺産に！」をテーマとしたパネル展示を開催します。

今回のパネル展では、建築家・ル・コルビュジエのプロフィールや建築のキーワード、国立西洋美術館の建築上の見どころ、世界遺産登録に向けたスケジュールなどについて、わかりやすく紹介する予定です。

また、DVD「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」の放映、各種パンフレット等も設置しています。

この機会にぜひお立ち寄りください！



前回のパネル展の様子

- ◆開催期間：2016年1月9日(土曜日)～1月31日(日曜日)
- ◆開催場所：台東区生涯学習センター(台東区西浅草3-25-16) 1階アトリウム

ぜひ
見に来てね！



活動報告

谷中まつり&かっぱ橋道具まつりで国立西洋美術館 世界遺産登録に向けたPRを行いました！



10月10日(土曜日)、11日(日曜日)に谷中防災広場「初音の森」をメイン会場として開催された「谷中まつり」と、10月12日(月曜日・祝日)に開催されたかっぱ橋道具街通りでの「かっぱ橋道具まつりパレード」に参加し、世界遺産登録に向けたPR活動を行いました。

谷中まつりでは、谷中防災コミュニティセンターにブースを設け、来場された多くの方々にパンフレットや啓発用のシール等を配布し、来年の世界遺産登録に向けたご理解とご支援をお願いしました。

かっぱ橋道具まつりパレードでは、横断幕とのぼり旗を持って参加するとともに、国立西洋美術館世界遺産登録たいとう推進協議会とともに、沿道の皆様にパンフレットや啓発用グッズを配布し、PRを行いました。

今後とも積極的にPR活動を実施してまいります。



谷中まつり ブースの様子



かっぱ橋道具まつりパレードの様子①



かっぱ橋道具まつりパレードの様子②

ル・コルビュジエってどんな人? —Part1 プロフィールなど—



©国立西洋美術館

ル・コルビュジエ (Le Corbusier) 1887~1965年

本名：シャルル・エドゥアール・ジャンヌレ

(Charles Edouard Jeanneret)

生まれ：1887年10月6日 スイスのラ・ショー＝ド＝フォン
(のちにフランス国籍になる)

ル・コルビュジエという名前は、1920年に創刊された雑誌「エスプリ・ヌーヴォー」の中で用いたペンネームなんだ。

○時計職人である父親の家業を継ぐため、美術学校で彫刻や彫金を学んでいたところ、先生であるシャルル・レプラトニエから建築を学ぶことをすすめられ、建築家としての一步を踏み出す。

○フランス・パリを拠点に活動し、数多くの建物を設計。世界各地で活躍し、70以上の作品を残す。

○建築分野以外にも、絵画、彫刻の制作、家具のデザイン、執筆活動などでも多くの作品を残しており、総合芸術家として活躍した。

趣味

スポーツ(水泳、自転車、ボクシング、サッカー)
写真、音楽鑑賞など

トレードマーク

・蝶ネクタイ
・黒縁の丸メガネ
・パイプ など

ソファなどの家具のデザイナーとしても有名だね！
体を動かすことも好きだったんだ。



コルビおじさん

次号(No. 43)はコルビュジエの建築のアイデアについてお伝えする予定です。

展覧会のお知らせ

◆「ル・コルビュジエと動物たち」展

大成建設ギャラリー・タイセイ

* 開催期間：10月29日(木曜日)～2016年2月27日(土曜日)

※木・金・土曜日のみ開館 10時～17時(日～水曜日、12/5、12/24～1/6は休館。また、臨時休館の場合がありますので、ホームページでご確認ください。)

* 開催場所：大成建設ギャラリー・タイセイ

(神奈川県横浜市中区長者町6-96-2 横浜第二遊楽ビル3階)

* 今年で没後50年を迎えた、20世紀を代表する建築家のル・コルビュジエ(1887～1965)は画家としても活躍していました。ル・コルビュジエが描いた絵画を見ると、意外にも動物が多く登場していることに気がきます。ペットとして身近にいたイヌやネコをはじめ、牡牛や鳥たちも好んで描かれました。彼は単なる観察の対象として描くにとどまらず、イメージをひろげて、動物をモチーフにしたシンボルの創造へと展開していきます。そして、動物たちは彼の建築の中にそっと取り込まれています。

今回の展覧会では、ル・コルビュジエが愛した動物たちとの関係を通して、ル・コルビュジエとはどういう人物であったのかをさぐります。パネルや模型、関係書籍等全50点程度の展示を通して、動物を愛したル・コルビュジエの素顔や彼が動物に託したメッセージを感じてみませんか。

この機会にぜひご覧ください。

詳しくはこちら(大成建設ギャラリー・タイセイホームページ)

⇒ <http://www.taisei.co.jp/galerie/index.html>

